

第5中足骨骨折

☆ 第5中足骨とは

足の甲の最も小指側に位置する骨を第5中足骨といいます



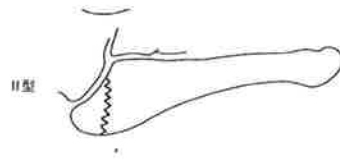
☆ 第5中足骨骨折の原因とは

第5中足骨骨折は外傷などによる急性の骨折と、激しいスポーツによって起こる疲労骨折とに分けられます。急性の骨折は足を内返し強制された場合や、ぶついたりした場合に発生します。

疲労骨折はスポーツ選手に起こります。走っている最中の方向転換やストップ動作の繰り返しにより物理的ストレスが蓄積し、結果的に骨折を生じます。発見者の名前をとって別名“ジョーンズ骨折”とよばれています。



ジョーンズ骨折



急性の骨折

☆ 症状は？

急性の骨折は患部の腫れや痛み、熱感、歩行痛を訴えます。疲労骨折も似たような症状を呈しますが、完全骨折をきたすまでは無症状のものもあります。

☆ 治療法は？

急性の骨折はギプス固定(4週間前後)や足底板療法を行ないます。

疲労骨折の場合は保存療法では長引いたり、一度治っても再骨折するケースが多い為、一般には手術療法がとられます。競技復帰までは手術療法を選択した場合で3カ月前後かかります。



ギプス固定



手術例